

第20回日本赤十字看護学会学術集会 交流セッション・発表日時等一覧

No.	企画代表者	タイトル	発表日	時間	会場	収容人数
交流セッション1	本庄 恵子 (日本赤十字看護大学)	臨床看護実践開発事業委員会企画「臨床に埋もれている看護の技の発掘」 —優れた実践の語りと技の伝承—	6月15日(土)	14:10~15:10	第3会場 (206講義室)	約80席
交流セッション2	安藤 広子 (日本赤十字秋田看護大学看護学部看護学科)	災害急性期における医療機関の看護職への支援 —災害時の受援体制の整備に向けて—	6月15日(土)	14:10~15:10	第4会場 (202講義室)	約80席
交流セッション3	川原由佳里 (日本赤十字看護大学)	元日本赤十字社救護看護婦の母から学んだこと —小原真理子氏の語りから赤十字の看護を考える—	6月15日(土)	14:10~15:10	第6会場 (204講義室)	約40席
交流セッション4	茂野香おる (淑徳大学)	取り戻そう！ 自然の回復過程を整えるケア —熱布バックケアプロジェクト その1—	6月15日(土)	14:10~15:10	第12会場 (第2実習室)	約60席
交流セッション5	萩原 直美 (日本赤十字社助産師学校)	保育所における妊娠期からの切れ目のない支援 —看護・助産・保育の協働が生み出す新しい実践—	6月16日(日)	9:10~10:10	第3会場 (206講義室)	約80席
交流セッション6	大重 育美 (日本赤十字九州国際看護大学看護学部)	九州における大学発信型の災害看護対応システム構築に向けた取り組み —研修設計の工夫と評価から—	6月16日(日)	9:10~10:10	第4会場 (202講義室)	約80席
交流セッション7	内山 孝子 (日本赤十字看護大学)	体感しよう！ 自然の回復過程を整えるケア —熱布バックケアプロジェクト その2—	6月16日(日)	9:10~10:10	第12会場 (第2実習室)	約40席
交流セッション8	服部 智子 (日本赤十字広島看護大学)	もっとクロス！ アクティブラーニング(MCAL) —看護教育におけるアクティブラーニングへの挑戦—	6月16日(日)	10:20~11:20	第3会場 (206講義室)	約80席
交流セッション9	加藤ひろみ (日本赤十字社医療センター)	理念を実践に活かすセルフケア支援 —明日からできるSCAQを活用したセルフケア支援—	6月16日(日)	10:20~11:20	第4会場 (202講義室)	約80席
交流セッション10	前田久美子 (日本赤十字看護大学)	医療施設におけるワーク・ライフ・バランス型マネジメントの現状と課題 —看護部長の悩みと挑戦に焦点を当てて—	6月16日(日)	12:30~13:30	第3会場 (206講義室)	約80席
交流セッション11	境 美幸 (大森赤十字病院)	看護を語る —語ること・聴くことを通して看護を語ることの意味を共に考える—	6月16日(日)	12:30~13:30	第4会場 (202講義室)	約80席
交流セッション12	河合 桃代 (帝京平成大学)	臨床現場での困りごとを語り合おう！ —看護の明日を切り拓くために—	6月16日(日)	12:30~13:30	第7会場 (207講義室)	約70席